

ひがしみの

Heartful Communication

JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。



特集

自己改革への挑戦

～組合員・利用者の皆さまに必要とされるJAを目指す～

パート1



2018 NOVEMBER
Vol.248

自己改革への挑戦

～組合員・利用者の皆さまに必要とされるJAを目指す～

PART 1

JAひがしみのJA自己改革の3つの基本目標「農業者の所得増大と農業生産の拡大」「総合事業展開による地域の活性化」「組織基盤・経営基盤の確立」に向け、総合的な事業展開に取り組んでおります。今回の特集は、JAひがしみが実践している自己改革の主な取り組みをご紹介します。



「農協改革」の背景と内容

【きっかけは規制改革推進会議の「農協改革」】

政府が内閣府に設置した規制改革推進会議が、平成26年5月に「農協改革に関する意見」をとりまとめました。これは、信用、共済事業の分離、准組合員の利用規制など、JAグループの総合事業を否定し解体するような内容でした。加えて、JAやJA全農の株式会社化や生協化、中央会制度の廃止などについても盛り込まれました。

与党はこの意見などをふまえ、平成26年6月に「農協・農業委員会等に関する改革の推進について」をとりまとめ、農協改革の目的を「農業・農村の発展」として、JAグループの自主的な判断を尊重するとしました。政府は2019年5月までの5年間で「農協改革集中推進期間」とし農協は重大な危機感をもって自己改革を実行するよう要請する」としました。

【農協法改正と5年後検討条項】

政府の規制改革推進会議は、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）に代表される経済グローバル化、成長産業化を進めるにあたり、農業や食に関する分野の協同組合とりわけJAが邪魔の存在のようです。

じつは、在日米商工会議所は、JAの准組合員は員外利用と同様「不特定多数」でしかなく、准組合員の利用を制限するべきと主張していますが、規制改革推進会議の准組合員の利用規制が必要であるとの主張と一致しています。

28年4月農協法改正では、准組合員の事業利用に関する規制のあり方について、改正農協法施行5年を経過する（2021年3月）までに、正組合員及び准組合員の組合の事業の利用状況並びに改革の実施状況についての調査を行い、検討を加えて、結論を得るものとする」とされました。JA自己改革の取り組み状況次第では、准組合員の利用を制限する恐れがあります。

農協法の主な改正内容

①事業運営

非営利規定を廃止し『農業所得の増大に最大限の配慮』を義務づける。

②理事構成

理事の過半数を、認定農業者または農産物の販売・法人等の経営に対し、実践的能力を有する者とする。

③准組合員の JA 利用規制

結論は 5 年間先送り。その間に、正・准組合員の事業の利用状況並びに改革の実施状況の調査を行い、結論を出す。

④全国・都道府県中央会

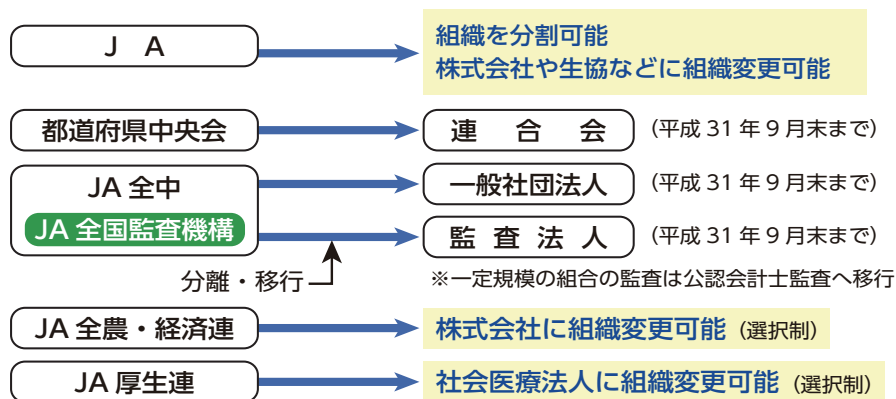
平成 31 年 9 月末までに全国中央会は一般社団法人、都道府県中央会は連合会に移行する。今までは国の要請により、行政の代行的な組織として位置づけられていたが、組合員・JA の意思に基づき設置する自律的な組織に変更される。

⑤監査方法

平成 31 年 9 月末までに公認会計士監査に移行する。

⑥組織変更（選択制）

全農・経済連は株式会社に、厚生連は社会医療法人に転換できる。信用・共済事業を行わない JA は株式会社や生協に転換できる。



JA 自己改革とは

改革は政府主導とするのではなく、JA が自ら組合員の声をもとにすすめるものです。将来めざすべき協同組合としての JA のあり方、営農・経済事業の強化にむけた自己改革の事項について検討を進め、JA グループでは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の 3 つを基本目標とする自己改革に取り組んでいます。



JA ひがしみの目指す方向

私たち JA は協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの話し合いを深めながら自己改革を実践しています。

金融・共済・営農・経済、その他すべての総合事業を効果的に展開し、持続可能な農業の実現と豊かで暮らしやすい地域社会を実現していくため、地域に根ざした JA として自らの改革に総力を挙げて挑戦します。

I. 農業者の所得増大と農業生産の拡大

- ①付加価値の増大、消費者ニーズに基づく販売力強化
- ②新たな担い手育成・支援
- ③生産資材コスト低減と省力化資材の提案
- ④営農指導態勢の強化による農業生産・技術力の向上
- ⑤事業部署間の連携強化

II. 総合事業展開による地域の活性化

- ①「食」と「農」を基軸とした JA 活動による地域コミュニティの活性化
- ②総合事業を活かした組合員・利用者ニーズに即した提案型事業の展開
- ③次世代・若年層との繋がり強化

III. 組織基盤・経営基盤の確立

- ①全役職員による事業計画の遂行と経営管理態勢強化による自己資本の充実
- ②経済事業のさらなる収支改善
- ③組合員の事業利用メリットの醸成、准組合員のパートナー化
- ④組合員に信頼され満足いただける職員の育成
- ⑤不祥事未然防止策のさらなる確立と法令遵守の徹底





TACの設置

営農指導員の専門性を高め、農業者の所得増大につなげるため、各アグリセンターに出向く営農専任担当者「TAC」（※愛称タック）を配置しています。TACは担い手や営農組織を中心にアウト向き、新品種の作付けや生産コスト低減に向けた新技術の提案、経営資金の融資など、農業者の所得増大の実現に向けた活動を行っています。また、毎月本店でTAC会議を開催し、金融部や共済部、経済部の担当者も参加することで、情報を全部署で共有します。



新規就農者への支援

JAひがしみのと県恵那農林事務所はトマトの研修農場の研修生と就農3年目までのトマトの新規就農者を対象に、「トマト夜間ゼミ」を開いています。同ゼミは新規就農者が抱える経営や栽培の悩みの相談や情報提供・共有の場として好評で、今年度は約20名が参加。恵那農林事務所が講師を務め、トマトの生理生態や栽培理論、病害虫の特徴や農薬の分類・特徴などを学んでいます。ゼミ後のアンケート調査では評価項目「学んだことを今後の栽培に活かせるか」「講義の満足度」において、5段階評価の平均4.8と高い好評を得ています。



主食用米の買取販売数増加

今ずり米「ひとなる」を中心に買取販売の強化を行い、平成29年度の実績は、16,784俵となりました。（平成28年度は6,753.5俵）ひがしみの農業祭をはじめ、さまざまなイベントで地元コシヒカリを使ったおにぎりの配布や、PR販売を行っています。また、平成27年度～29年度の日本穀物検定協会において「美濃コシヒカリ」が3年連続で特Aを取得できました。今後、「東美濃産コシヒカリ」として、米のブランド化へ向け、プロジェクトチームを発足させ、良食味米づくりに取り組んでいます。



栽培技術の伝承

新規就農者獲得に向け、定年退職後に就農を考える人や家庭菜園からさらに専門性を高めたいと考える人を対象に参加を募り、栽培技術の向上を目指しています。同塾では夏秋なすと、栗の2つのコースを設置。先輩農家やJAの指導のもとで知識を身に付けるとともに、仲間作りの場にもなっています。JAでは同塾を通して、生産者の確保と、就農者の掘り起しに繋がっています。





農畜産物の販売力強化

当JAでは、平成28年度より新たに営農販売戦略室を設置し販売力の強化を目指しています。当地域の特産品である夏秋トマト・栗などの契約販売の強化や量販店・ホテル等の新規開拓にも取り組んでいます。東海4県のJAグループが行う「食と農の大商談会」などにも参加し、バイヤーに自慢の農産物や加工品の売り込みも行っています。

名古屋市の量販店などでは、生産者と同JA職員が直接店頭販売をするなどの活動で、消費者の「生の声」を聞き、生産者と消費者を結びつけています。



生産資材コストの低減

安価供給に向け年間4回、競合店の店頭価格及び予約注文書の価格調査を実施しました。その結果を踏まえ、全農をはじめとする各仕入先に対し価格交渉を実施し、平成29年度は70品目を値下げする事ができました。

なお、生産コストの実態分析として予約資材供給額の10%あたりのコストを抽出して検証した結果、平成28年度から7.1%の減額となりました。第6次中期計画実践前の平成27年度と比較すると、16%のコスト低減につながりました。加えて、重点取組として実施した直送大型規格農薬（1～5%用）も予約注文書に多銘柄採用することで、従来の10%用農薬と比較し15～30%のコストダウンを実現する事が出来ました。

また、平成29年度より予約注文書・広報紙への掲載、TAC・営農経済担当者による推進活動の中で『肥料の銘柄集約』に取り組みました。集約した2銘柄においては、大幅なコスト低減に繋がる肥料として位置づける事ができました。今後も、園芸肥料及び水田除草剤についてもより良い商品を厳選する中で銘柄を集約し、コスト低減に繋がる取組みを実践します。



【銘柄集約に伴う実績】

☆化成肥料14-14-14 7,800袋 156トン
☆化成肥料17-0-17 3,000袋 60トン

合 計	216トン	県下JAの8.9%
県下合計	2,432トン	121,600袋



組合員アンケートの実施

平成28年・29年度と組合員・利用者の皆さまへのアンケート調査を実施しました。いただいた意見・要望・提案を今後のJA運営に反映するとともに、職員の育成強化と意識改革により信頼性の向上を図ります。

また、当JA足立能夫組合長ら常勤役員は、営農専任担当者（TAC）と共に、管内の認定農業者や農業法人、集落営農組織などの代表者の皆さまを訪問し、農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた第6次中期計画取組アンケート調査を実施。常勤役員が訪問することでJAに対する意見や要望を直接聞き取り、今後の事業に反映させる目的です。

また、常勤役員と各支店長、金融・共済・経済部の各担当者と共に、管内の担い手農業法人、集落営農組織から選定した24組織の代表者を対象に定期訪問も実施しました。現場に足を運び、徹底した話し合いにより、自己改革の着実な実践に活かします。



次号では「Ⅱ.総合事業展開による地域の活性化」と「Ⅲ.組織基盤・経営基盤の確立」の実践事例を掲載します。

ふるさとを再発見

2019年版カレンダー写真表彰式

JAひがしみの10月19日、2019年版JAオリジナルカレンダーの写真表彰式を行いました。

オリジナルカレンダーの作成は、JAが管内の自然や風物、行事などを紹介し、ふるさとを再発見してもらう目的で、毎年取り組んでいるもの。「東美濃の四季」をテーマに募集し、自然、農作業風景、祭りなど37名から107点の作品が寄せられました。このうち12点を各月、春夏秋冬を紹介する表紙に4点を採用しました。

JA足立能夫組合長は「東美濃管内のよさが伝わる素晴らしい作品ばかりであった」と採用者へお礼の言葉を述べ、感謝状と賞品を手渡しました。

JAでは今回の応募作品すべてを「JAひがしみのオリジナルカレンダー写真作品展」として、11月11日開催の「第14回ひがしみの農業祭」で展示する予定。



当JA早川常務(中央)と写真採用者



意見交換を行う参加者

信頼・必要とされるJAを 組合員・利用者と座談会

JAひがしみの10月23日、25日に管内4地域で地域別座談会を開催し、組合員・利用者ら約200名と意見交換を行いました。

同座談会は、自己改革に伴い、JAに対する意見、要望を組合員や地域住民から聞き、今後の運営に反映させる目的で、平成28年度から開催。

参加者を総代や運営委員会に限定せず、誰でも参加できる座談会としました。

参加者からは販売事業に対して「高齢化が進む中買い物弱者対策を行ってほしい」「農業所得増大の実現に向け、地域の農地・農家のためしっかり取り組んでほしい」などの意見があがりました。

JA足立組合長は「地域に根ざした総合農協を目指し、組合員・利用者と共に役職員が一丸となって自己改革の実現に向けて取り組む」と話しました。

豊作に感謝

超特選栗を伊勢神宮へ奉納

JAひがしみのと東美濃栗振興協議会超特選栗部会、恵那市の菓子店「恵那川上屋」など24名は、10月16日、栗きんとんと超特選栗を伊勢神宮に奉納しました。

超特選栗は、栗菓子の材料として、同菓子店と出荷契約を結び、高単価取引が行われています。奉納は秋の収穫に感謝するとともに、今後の発展を祈念するため、毎年行われています。

当日は、栗きんとん100個と超特選栗5^{kg}を入れた桐箱を一行が担ぎ、神楽殿まで向かい奉納しました。同協議会は「今後の高品質な栗栽培振興に一層の努力をしていきたい」と話しました。



神楽殿へ向かう一行

若手農家がPR

たべとるマルシェ開催

JAひがしみの管内の若手農家により結成されたグループ「恵那NEWFARMERS交流会議」が農産物を販売する「たべとるマルシェ」が10月20日に恵那市立図書館で開催されました。

同グループは平成29年度に開催した農業者と料理人が意見を交わす「食と農の交流会」で「地元の食材を買える場所を増やしてほしい」という声があがったのをきっかけに結成。メンバーは市内20～40代の農家からです。

6月から始まったマルシェは今回で5回目。11月17日と12月22日にも開催予定で、季節の野菜やハーブティー、蜂蜜などを販売します。

来場者は「若い農家が頑張っている姿を見て、応援したくなる。生産者の顔が見えるので、安心できる」と話します。

同グループは11月11日に開催の「第14回ひがしみの農業祭」にも出店予定です。



農産物などを販売する同グループメンバー

栗きんとんづくり盛ん 手づくりの美味しさ実感



栗きんとんを作る講座参加者

恵那農林事務所とJAひがしみの10月13日に恵那市市民会館、20日にJA本店で「栗きんとんづくり講座」を開き、28名が参加しました。

同講座は栗の栽培に興味を持つきっかけづくりや、栗の生産者を対象に開催する「栗新規栽培チャレンジ塾」への参加を呼びかける目的で、今年で3回目の開催です。

また、中津川市立坂本小学校は10月11日と12日に、3年生4クラスが総合学習の一環で栗きんとんづくりを行いました。

使用した栗は児童の家族らが用意したもの。講師はJAの理事である土屋厚子さんが務めました。児童は「はじめて作ったけれど、楽しかった」と笑顔を見せました。



坂本小児童と講師の土屋さん

山岡小でまめなかな運動

農業応援番組収録

JAひがしみの10月17日、恵那市立山岡小学校で、枝豆の収穫と調理実習を行い、3年生26名が参加しました。

これは「まめなかな運動」の一環で、同校では10年以上前から活動を行っています。

当日は6月下旬に豆まきをした畑で枝豆を収穫。その後食農リーダーの指導のもと、管内産のコシヒカリを使った「枝豆とコーンの混ぜご飯」「枝豆とひじきのサラダ」を作りました。

今回の活動は岐阜放送で11月13日に番組「Station!」内で放送予定です。



枝豆とご飯を混ぜる児童と食農リーダー

農業視察

阿木高校がJA選果場を視察

阿木高等学校の生産科学科1年生は10月4日、農業視察として、JAトマト選果場や夏秋トマト農家などを視察しました。

当日はJAの中津川選果場で、機械の仕組みや流れを見学。他にも、東美濃夏秋トマト生産協議会の鷹見豪協議会長から夏秋トマト栽培の経営について、中山間農業研究所中津川支所ではトマトとなすの袋栽培や栗の育成、シクラメンの育種について説明を聞きました。



選果場でJA職員の説明を聞く阿木高生



農家から話を聞く児童

管内農産物を知る 神坂小が農家視察

中津川市立神坂小学校5年生12名と3年生9名は、10月10日、神坂地区のJAひがしみの組合員宅のもとで、農家視察を行いました。

同校は総合授業の一環で、毎年田植えや稲刈りなどの農業体験を行っています。今回も地元の農業について学ぶために企画されました。

視察に訪れた農家はトマトやリンゴ、水稻など5軒。児童は9月の台風の被害状況や鳥獣害による被害、栽培の苦労や喜びなどを質問しました。

健康百科

緑内障を早く見つける

佐久総合病院名誉院長 ● 松島 松翠

日本では40歳以上の人の約20人に1人は緑内障があるとされており、中途失明の原因の第1位を占めています。失明を防ぐためにも、緑内障をできるだけ早く発見して、適切な治療を受けることが大切です。

緑内障とは、眼圧が上昇し、そのため視神経を圧迫して視野欠損や視力障害を起こす病気なのですが、最近では、眼圧が高くないにもかかわらず、典型的な緑内障を起こす人が多いということが分かってきました。これを正常眼圧緑内障と呼んでいます。

どうして眼圧が正常でも緑内障にかかるのかというと、はっきりとした原因はわかっていませんが、高齢になるほど増えてくることから、年を取って視細胞が弱くなり、壊れやすくなっていることが考えられます。

わが国では、正常眼圧緑内障が緑内障全体の約7割を占めていると言われていますが、最初の内は、症状がほとんどないまま、ゆっくりと進行します。そのため、かなりの人が知らない内に緑内障になっている心配があります。自覚症状が現れてくるのは、緑内障

の中期になってからで、視神経が障害されて5～10年ほどたってからです。緑内障ではいったん起こった障害は良くありませんので視力障害など自覚症状が出る前に早く見つけて、進行をできるだけ食い止める必要があります。

そのためには眼圧検査だけではなく、眼底検査や視野の検査が必要になります。40歳を過ぎたら、年に1回は眼科で検査を受けて、緑内障があるかどうかを調べてもらうのが望ましいといえるでしょう。





まず真夜中に、どうしたら…
こんな時間に、
何をしたらいいの？
いざその場になると
どうしたらいいかわらず不安になるものです。

もしもの時は… **年中無休24時間**
体制にて受付致しております。

JA葬祭センターが真心を込めてお手伝いします。
JAひがしみの葬祭センター
0120-098382
家族葬・葬儀相談も承ります。

組合員の皆さま対象 Aコープで使える割引券を 配布中!

JAひがしみの自己改革の一環として、Aコープマーク品に使える割引券を5月から配布しています。

割引券は組合員でAコープカード会員の皆さま限定。会計時にカードを提示いただくと、割引券をお渡ししています。割引となる対象商品は毎月更新されます。割引券は管内4店舗のAコープ店でご利用いただけますので、ぜひご利用ください。

11月は「らっきょ酢」「麹漬けの素」が50円引き、「ほめられ酢」「すき焼きのたれ」が30円引きなど、計10品の割引となります。



Aコープ 1回限り限定2個まで
表示価格より 50円引き

JAひがしみの
農業者の所得増大に向けて
青色申告セミナー
参加費 無料
(定員20名)

JAひがしみの管内の農業者の方を対象に、無料の勉強会を開催します。

農業会計と確定申告について
～さあ、青色申告を始めよう～
初心者から上級者まで、青色申告の制度・特典を易しく解説します。お気軽に、ご参加ください。

青色申告の制度と特典
確定申告書の記載方法と留意点
農業者関連の税制について
確定申告についての質疑応答

開催日 平成31年1月16日(水曜日)
時間 午後1時30分～午後4時30分
場所 JAひがしみの本店大会議室
(中津川市船子川1646-13)
講師 税理士法人 吉屋七野会計
代表主・吉屋康典アドバイザー
吉屋 伊藤 先生

ご住所 JAひがしみの 本店 ☎0573-78-0124
お問い合せ先 総合企画部経営企画課 ☎0573-78-0124

30年度岐阜県下JA国内キャンペーン

北海道体験スペシャル

絶賛販売中!!

**層雲峡氷瀑まつりと
流水クルーズ3日間**



ご旅行期間は…

平成31年
第一班 2月21日(木)～2月23日(土)
第二班 2月26日(火)～2月28日(木)

旅行代金 (お一人様) **94,800円**(2～4名1室同一料金!!)

屋頂の飛行機だから朝ゆったり
往復直行便で楽チン!

地元から空港まで往復送迎付き
3日間の観光と7回食事付き!

詳細は専用チラシにてご確認ください。
JAひがしみの本店・各支店・事業所にございます。

農旬

情報

2018年
11月

第2回ひがしみの地域 「おいしいお米コンテスト」開催

J Aひがしみののは10月22日、J A本店で「第2回ひがしみの地域おいしいお米コンテスト」の決勝戦を開催し、J A関係者や生産者らが参加しました。

出品対象はJ A管内で米づくりに取り組む農業者や農業団体。180名272点が出品されました。事前の審査ではまず食味計による測定で高得点上位30点を選出。次に味度計による計測で食味値との合計値上位6点を選出。決勝戦では審査員が実食審査を行いました。

審査の結果、最優秀賞には農事組合法人夏焼が選ばれました。夏焼を含め、6点中4点が中津川市福岡地区。同地区では良食味米生産に効果が期待できるケイ酸カリの使用や、管内では一般的に5月の田植えを6月の遅植えにすることで、夏の猛暑による品質低下を防ぎました。

大会長を務めたJ Aの足立能夫組合長は「大会を通じて、消費者から支持される良食味米の生産に一段と励んでほしい」と話しました。

審査結果

【最優秀賞】

(農) 夏焼(副賞: 中津川市長賞)

【優秀賞】

中野方うまい米づくり研究会

(農) アシスト中野方(副賞: 恵那市長賞)

(農) はちたか、田口義春、

(農) うえなえぎ、(農) しもの



11月26日、27日に岐阜県高山市で米食味分析鑑定コンクール国際大会が開かれます。応募期限は11月5日まで。

農業用使用済資材回収の お知らせ

当J Aでは、環境に優しい農業を目指して、県、市、行政とも連携しながら農業用使用済資材の回収に努めています。

今年も各地域で行いますのでご利用下さい。

農業用使用済資材とは？

使い終わったビニールハウスのビニール、マルチ、肥料袋、育苗箱、ポットなどです。これらの使用済資材は廃棄物処理法で産業廃棄物に指定されています。

回収日と回収場所

中津川地域

坂本ライスセンター

12月7日(金) 10時～14時

恵那地域

恵那カントリエレベーター

12月6日(木) 10時～14時

(恵那、恵那西、大井支店管内)

蛭川ライスセンター

12月7日(金) 10時～14時

(恵那北部、蛭川支店管内)

恵那北地域

福岡なす果場

12月6日(木) 10時～14時

加子母トマト果場

12月7日(金) 10時～14時

恵南地域

恵南アグリセンター

12月6日(木) 10時～14時

回収するもの

・農業用ビニール

(泥を落として10kg位の玉にして)

・ビニール以外の農業資材

(持ち運びしやすいように)

回収方法

それぞれの回収場所まで各個人持ち込みをお願いします。重量測定(原則運搬車毎計量)をしてフレコンバッグに詰め込みます。

回収費用

費用は搬入農家の個人負担となります。

処理費は19,000円(税抜)/㎡ですが、資材の種類や量によって各地域で単価に差が出ます。昨年は平均で181円/kgとなりました。体積金額を重量換算してkg単価で請求しますのでご了承下さい。

※当日は印鑑を必ずご持参ください。

お問い合わせ先

J Aひがしみの営農部営農販売課
TEL 0573(78)0137



彩菜栽

2018年
11月

里芋の収穫と上手な貯蔵のコツ



里芋の主成分はでんぷん類で、このでんぷんは加熱すると糊化し、消化吸収しやすくなります。カリウムは芋類の中では最も多く、高血圧予防に効果的です。

タンパク質、ビタミンB群、Cなどを多く含み、栄養価が高いのが特徴、しかも食物繊維も豊富で水分に富み、意外に低カロリー、体重が気になる方にもお勧めです。



あらかじめ葉と葉柄を切り取り、作業しやすくしておく



芋が外れたり傷ついたりしないよう注意して掘り上げる



切り口を下に向けて詰め込む

(2) 厳寒期に入った頃
覆土10cm～15cm
(1) 貯蔵開始時の
覆土5cm～6cm



秋になって盛んに育ち、肥大化した里芋は、晩秋に入ると育ちが止まり、収穫期を迎えます。

収穫適期の目安は、葉の緑が黄化し始め、葉が少し垂れ気味になった頃です。里芋は寒さに弱く、1～2回霜を受けただけで葉は容易に枯れてしましますが、この頃が収穫の限界

です。掘り遅れると品質を損ねるだけでなく、貯蔵した場合の故障芋が多くなってしまうます。

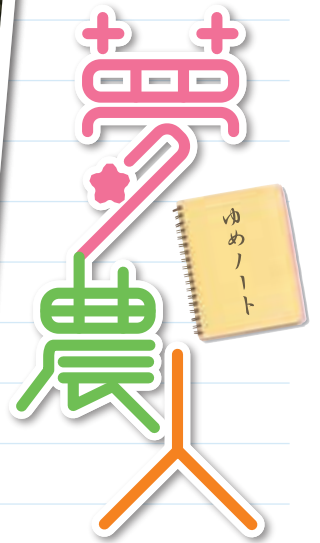
収穫するに先立って、図のようにあらかじめ葉身を地上5～6cmの高さで、鎌で刈り取っておきます。芋や根は強大に太っているのので、株の側面に大きくくわを打ち込んで、子芋や孫芋を外さないよう注意して、株全体を丁寧に掘り上げます。

すぐに利用する場合は、その場で全ての子芋、孫芋、ひ孫芋を親芋から取り外します。多数の株を効率よく取り外すには、外側の外れやすい子芋を取り除き、残った株を手で持ち上げて、大きなビール瓶などで横から強く打つと、案外傷つかずによく外れ落ちます。

貯蔵する場合には、子芋、孫芋などを外さないよう、特に注意して取り扱います。外れてしまうとその傷口から傷みはじめるので、貯蔵中の故障芋が多くなります。

貯蔵する場合は排水の良い畑を選んで、幅40～50cm、深さ60cmぐらいの貯蔵穴を設けます。そして掘り起こした株を丁寧に運び、地上部の切り口を下方向に向けて丁寧に積み重ね詰め込みます。反対に詰めると子芋が離れやすく、傷口から腐敗する芋が多くなります。

貯蔵穴を全部詰め終わったならその上に麦わら、稲わらなどで覆い、5～6cm覆土しておきます。さらに厳寒期に入った頃に10～15cmの覆土を追加して寒さから守ります。



恵那市上矢作町
安藤 菊男さん(69)

ブロッコリーの栽培導入

ブロッコリーの栽培を今年新たに始めた福寿の里営農組合。同組合の代表を7年前から務めているのが安藤さんです。「ブロッコリーは9月の台風の影響を受けたけれど、今は順調に回復している」とほっと胸を撫で下ろします。

同組合は平成17年の圃場整備をきっかけに設立。現在は食用米7ha、飼料米8ha、酒米3haを栽培。昨年度まではにんにくを栽培していましたが、連作障害に悩まされたことや、冬場の農閑期での作業として、何か新しい品目を検討していたところ、地元の営農組合のすすめでブロッコリーの栽培を導入しました。

今年は試験的に10aに3500株を定植。安藤さんは「にんにくと比べて、とにかく防除作業に時間がかかる」と苦笑い。しかし、今年は夏の猛暑の影響でヨトウムシやアオムシによる害虫被害は少なく済みました。また、ブロッコリーは軽量で作業負担が少ないことから、同組合では女性を中心に取組んでいます。安藤さんは「きめ細かさや、丁寧な作業は女性ならでは」と感心します。ブロッコリーは11月上旬から収穫を始め、700kgの出荷予定です。

「今後も荒廃地をなくし、開拓していくと

ともに、魅力ある営農組合をつくりたい」と語る安藤さん。地域における営農組合の法人化や広域化についても、今後の課題としてあげています。

ブロッコリーの栄養

ブロッコリーはとても栄養価が高い野菜で、100g食べれば1日に必要なビタミンCが摂れてしまうほど。他にも、葉酸やカリウム、食物繊維なども豊富に含まれています。





寄せ植えサークル

寄せ植えサークルは、約10年前から活動しています。講師を務めるのは、中津川駅前で「旬フラワーショップたかみ」を経営する鷹見智穂子さん。「せっかくの機会なので、楽しみにしている参加者のために気が抜けない。」と毎回工夫を凝らしています。

平成30年度の開催は5月から2月まで。10月16日はハロウィンにちなみ、小さな黄色のかぼちゃを用意。使う花材は白妙草やミセバヤ、ジュズサンゴなど7種類。ポイントは黄色のテープを巻き付けたワイヤーを鉢に通し、かぼちゃの丸みを表現しています。と。オレンジのリボンを結べば完成です。

毎回寄せ植えに使う花は5、6種類。鉢の形や色もさまざまです。はじめにお手製のレシピが配布され、鷹見さんから説明があります。参加者は「花の組み合わせが鮮やかで、季節感のあるものばかり。丁寧に管理して、長持ちさせたい」と喜んでいきます。



☆JAの星

阿木支店
今井隆之



Profile

担当：ライフアドバイザー
入組：6年目
出身：恵那市武並町
血液型：AB型
趣味：卓球

お客さまとの関係づくり

阿木支店ではサツマイモの栽培や、パンジーを育てて配布するなどの活動で、地域との交流を図っています。

お客さまとは、些細な事でも話してもらえるような関係づくりに、今後も努めていきたいです。

キラキラ ひがしみのっ子



中津川市落合

木戸 彩織さん(10)・瑠菜ちゃん(6)・璃響くん(8)

ケンカしても仲直り

「将来の夢はお医者さん」と話す彩織さん。学校ではお友達とお絵描きや図書館で本を読んだりすることが好きで、努力家です。長男の璃響くんは体育の授業やドッチボールなど体を動かすことが好きで、木戸家のムードメーカーです。末っ子の瑠菜ちゃんはいろいろなことに興味をもって、何でもやってみたいお年頃です。

お母さんは「3人仲良く、これからも助け合いながら成長してほしい」と話します。



ひがし君・みゆちゃんの おはなし日和



☑ 先月号で紹介された吉村さんの仕事ぶりに感心しました。サーブス精神豊富で、お客さんのことを考えて栽培している姿に、一度ブドウを食べてみたいと思いました。
中津川市坂下 伊藤淑子さん

☑ 「夢農人」は地域で農業に情熱をもって取り組んでいる方の思いが伝わります。これから楽しみにしています。
中津川市苗木 西野秀文さん

☑ 「夢農人」のおたよりをたくさんいただきました。吉村さんは本当に気さくで人柄も良く、美味しいブドウももちろん食べてほしいですが、吉村さんに会いに行くだけでも価値がありますよ！

☑ 先月号で紹介された「家の光講座」に興味があります。自分でもリメイクに挑戦しているのでも、とても楽しそうな講座だと思えました。
恵那市串原 平崎真子さん

☑ 11月11日に開催される農業祭を楽しみにしています。野菜や果物など、今年もたくさん買い物します！
中津川市駒場 桂川順子さん



☑ 約10名のメンバーの「西山十日会」では、毎月手芸や体操などで、親睦を深めています。10月はホオズキや黒豆、どんぐりを使って、クリスマスに向けたリースを作りました。



☑ 大きいさつまいもを収穫しました！
恵那市岩村町 堀卓美さん



☑ 里芋から花が！珍しいでしょ？
恵那市武並町 加藤明美さん

☑ ありがとうございます！新鮮な農産物や種類豊富な出店をぜひ楽しんで下さい。

頭口体操

■ヨコのカギ

- ① アフリカの川や池に住む動物。体も口も大きい
- ② そろそろスタッドレス——に交換しようかな
- ③ まるで取りつく——もない様子だったよ
- ④ ——栽培はオーガニック農法とも呼ばれます
- ⑤ 鳥籠の中に取り付ける棒
- ⑦ 火事に備えて設置する物
- ⑨ 音はこれで聞き取ります
- ⑪ 落語を客に聞かせる職業
- ⑬ 頭をひねって絞り出します
- ⑮ 徳川将軍家は三つ葉葵
- ⑰ 机のこと。ライティング——
- ⑲ 道が十字に交差している所
- ⑳ 漢字では羊の歯と書く植物

■タテのカギ

- ① 武士が腰に差す物
- ③ パリやベルリン、バンコク、北京など
- ⑥ 8は2の4——です
- ⑦ 英語ではゼブラ。草食動物です
- ⑧ 月が出ていなくて真っ暗です
- ⑩ タンスなどに加工する軽い木材
- ⑫ 家族やごく近い人のこと
- ⑭ 遠くて近きは男女の——
- ⑯ モミジとも呼ばれる木
- ⑰ 10月は神無月、11月は——
- ⑲ ネタやシャリなどから作ります
- ㉑ このぶんしょうにはつかわれていません
- ㉒ ヒトコブ——やフタコブ——は砂漠で使われる動物



【問題】二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■応募要領

ハガキにクイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、JAまたは広報誌に対する意見、要望などをご記入の上、下記までお寄せ下さい。

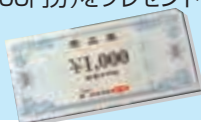
〒509-9132 中津川市茄子川1646-19
JAひがしみの 本店 総合企画部 組織広報課

■応募締切日

平成30年11月22日(木)

■賞品

正解者の中から抽選で10名様に農協全国商品券(1,000円分)をプレゼント



■10月号の答え

クリヒロイ(栗拾い)

■クイズ当選者(敬称略)

市岡 秀仁、三宅 洋、杉原 良子、
今井 智恵子、酒井 美代子、大島 丹都子、
丸山 年道、市岡 真奈美、安江 真由美、
中島 勝利

理事会

第6回理事会

(平成30年10月25日)

次の事項が報告、または審議されました。

【附議事項】

- ①平成30年度仮決算結果について
- ②理事との利益相反契約について
- ③恵南ライスセンター 玄米色彩選別機更新工事及び建設委員会の設置について

【報告事項】

- ①予備調査を依頼する監査法人の選定について
- ②不祥事に対する再発防止策について
- ③第2四半期余裕金運用状況について
- ④反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について
- ⑤理事との利益相反契約の結果について
- ⑥組合員の加入及び脱退の状況について
- ⑦不稼働資産の現状について
- ⑧平成30年度JAファンづくり運動進捗状況について
- ⑨平成30年度上期運営委員会検討事項について
- ⑩リスク管理債権第2四半期の現状について
- ⑪大口貸出金上期の現況について
- ⑫9月末の事業実績について

JAひがしみの概況

(平成30年9月30日現在)

組合員数	32,420人
出資金	26億2,463万円
貯金	2,245億2,522万円
貸出金	388億7,114万円
共済保有高	6,432億9,309万円
購買品供給高	31億1,127万円
販売品取扱高	23億9,448万円

ここだけの話

■先日、町内会で開催されたウォーキング大会に参加しました。車では行けないコースがほとんどで、歩いてみると近所にはまだまだ知らないすてきな場所がたくさんあることを再発見しました。車の移動が多くなってきた今日この頃、これからはたまには歩いてみようと思いました。(も)

■「女性の活躍推進セミナー」に参加しました。参加された方は子育てや転職など様々な経験を経て、キラキラと輝いた人生を送っています。私生活の充実で、仕事も捗り、また私生活が潤うという「ワークライフバランス」は女性の積極的な社会進出に密接に繋がっていると感じました。(な)

無料相談日

JAでは、各種相談日を設けていますので、お気軽にご利用ください。各相談場所へ事前に電話予約をしてください。

内容	月 日	場 所
年金相談	11月 14日(水)	恵那支店
	〃	坂下支店
	21日(水)	中津川支店
	〃	加子母支店
	〃	付知支店
	〃	下野支店
	12月 5日(水)	山岡支店
法律相談	11月 8日(木)	本店
	14日(水)	下野支店
	21日(水)	恵那支店
	〃	山岡支店
税務相談	12月 12日(水)	下野支店
	13日(木)	本店
	11月 14日(水)	恵那支店
	〃	山岡支店
葬儀無料相談	11月 7日(水)	JA葬祭 アグリホールえな ☎0573-22-9876
	12日(月)	〃
	18日(日)	〃
	24日(土)	〃
葬儀相談 10:00~14:00	12月 6日(木)	JA葬祭 アグリホールえな ☎0573-22-9876
	10日(月)	〃
	16日(日)	〃
	22日(土)	〃

ご案内窓口 市外局番 ☎(0573)

本店	☎78-0124	上村支店	☎47-2311
中津川支店	☎65-3144	坂下支店	☎75-4111
恵那支店	☎25-5291	加子母支店	☎79-2241
山岡支店	☎56-2121	付知支店	☎82-2121
明智支店	☎54-2171	下野支店	☎72-2061

ふれあい訪問日

平成30年12月の
ふれあい訪問日 **11日(火)・12日(水)**

緊急連絡先

事故をしてしまったら	TEL 0120-25-8931
通帳・キャッシュカードを無くしてしまった	TEL 0120-215-522
葬儀に関するご相談は	TEL 0120-09-8382
電化製品のお問い合わせは	TEL 0573-78-0122
プロパンガス・ガス器具のお問い合わせは	TEL 0573-68-7744



(カレンダー応募作品より)

近所の下郷神社です。銀杏と桜の木があり、赤と黄色の紅葉が美しい。朝の霜に一齐に落葉すると、境内が落ち葉で埋め尽くされます。

今月の表紙

「落ち葉」

撮影・梅田周作さん
(中津川市加子母)
撮影地・中津川市加子母



レシピ1 長芋のグラタン

材料

(1人分)

長芋……………100g	鶏ガラスープのもと……………小さじ1
じゃがいも(シャドークイーン)……………1/2個	塩・こしょう……………適宜
チェダーチーズ……………1枚	刻んだパセリ……………少々
生クリーム……………1/2カップ	バター……………適宜
牛乳……………1/2カップ	

作り方

- ① 長芋の半分はすりおろし、半分は短冊に切る。じゃがいもは火を通して一口大に切る。
- ② フライパンにバターをひき、切った長芋とじゃがいもをソテーし牛乳と生クリーム、ガラスープのもとを入れ、塩・こしょうで味を調える。
- ③ グラタン皿に長芋とじゃがいもを取り出した②を入れ、すりおろした長芋を上からかけチェダーチーズをのせ、取り出した長芋とじゃがいもを並べ、トースターなどで焼き、パセリを散らして出来上がり。

レシピ2 長芋のかき揚げ

材料

(1人分)

長芋……………30g	小麦粉……………適宜
アボカド……………1/2個	サラダ油など……………適宜
にんじんの葉……………適宜	塩……………少々
小麦粉……………適宜	

作り方

- ① 長芋を短冊に、アボカドはさいころ状に切る。
- ② ボウルに①とにんじんの葉を入れ、小麦粉を軽くまぶす。
- ③ 水で溶いた天ぷら粉1/2カップほどで、②を軽く混ぜ合わせ一口大にまとめ、170度に熱した油で返しながらじっくりと揚げる。盛り合わせにミニトマト(材料外)などを添える。



インターネット動画サイト「GYAO!」
で農業応援番組を配信しています。



JAひがしみのホームページ

ひがしみの産のおいしいレシピや食材、最新情報はこちら
<http://www.ja-higashimino.or.jp/>



JAひがしみの

検索

Heartful Communication ひがしみの

発行：東美濃農業協同組合(JAひがしみの) ●NOBEMBER / Vol.248 2018年11月1日発行
編集：総合企画部 組織広報課 〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-19
TEL0573・78・0124 FAX0573・68・7724 (E-mail) koho@ja-higashimino.gjadc.jp

お伺いしたのは

店舗名

担当者名

です。